

九州支部平成 25 年度総会及び特別講演会・ポスターセッションのご報告

日本都市計画学会九州支部平成 25 年度総会及び特別講演会、ポスターセッションが、4 月 7 日(日)に九州大学西新プラザにおいて開催されました。

1. 平成 25 年度 九州支部総会

総会では、以下の(1)~(3)の議案等について報告・審議され、賛成多数で承認されました。

(1) 平成 24 年度事業報告

a) 日本都市計画学会九州支部設立 20 周年事業

◆九州・沖縄縦断連続シンポジウム

沖縄会場「米軍普天間飛行場跡地利用における水と緑のネットワークの再生をめぐる論点と課題」(参加者:約 130 名)、大分会場「安全・安心のまちづくりシンポジウム in 東九州」(参加者:約 90 名)、福岡会場「九州の未来 — サステナブル都市のデザイン」(参加者:約 100 名)の計 3 回のシンポジウムを実施しました。

◆日本都市計画学会九州支部設立 20 周年記念誌

10 周年記念誌以降 10 年間の総括として、歴代支部長のおことば、研究分科会活動報告、20 周年記念シンポジウムの報告をまとめた記念誌を発行し、支部会員全員に配布しました。

b) 九州支部都市計画サロン

戦後の都市計画史、景観デザイン、アジアの都市制度、福岡の舟運という幅広いテーマで、計 4 回実施しました。

c) 支部研究分科会活動

平成 24 年度は以下 2 つの研究分科会が活動を行いました。

・「地域資源を活かした市民活動と地域・まちづくり」

代表者：堤 昌文 (西日本工業大学)

・「戦後復興期の地方都市における都市・住宅政策の萌芽に関する研究分科会」

代表者：小山雄資 (鹿児島大学)

(2) 平成 25 年度役員選任

今年度の役員が選任されました。主な役員は次の通りです。

支 部 長：佐藤誠治 (大分大学)

副支部長：外井哲志 (九州大学) 橋本信幸 (都市プラン九州)

幹 事 長：坂井 猛 (九州大学)

(3) 平成 25 年度事業方針

a) 講演会及び事例研究会の開催

・最近の話題を取り上げて必要に応じ講演会等開催する。

・九州支部都市計画サロンを年 4 回開催する。

b) 研究分科会活動

- ・「戦後復興期の地方都市における都市・住宅政策の萌芽に関する研究分科会」代表者：小山雄資 (鹿児島大学) 【継続】
- ・「北部九州陶芸まちづくり研究会」

代表者：山下三平 (九州産業大学) 【新規】

c) 支部報告会の実施

研究や実務の成果を発表するポスターセッションを行う。

d) ワーキンググループによる支部活動の検討

①表彰制度、②都市計画分野の新人研修、③学会会員の業績リストデータベース (都市計画九州 WHO'S WHO) と広報に関する検討を継続する。

2. 特別講演会

総会後に、九州大学先端素粒子物理研究センター長の川越清以先生から「国際リニアコライダーと都市計画」という演題でご講演いただきました。



3. ポスターセッション

25 作品 (応募数 35 点) のポスターセッションを開催し、参加者 54 名 (発表者 25 名) による議論のうえ支部役員による審査を行い、最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点を表彰しました。



最優秀賞：掲野慎一郎 (九州工業大学) 「ビオトープネットワーク構築を目的とした生態学的な空間評価と流域景観計画に関する研究—福岡県遠賀川流域を対象として—」
優秀賞：萩尾愛子 (福岡大学) 「対馬市厳原における歴史的石塀保全を目指した住民参加型街路整備事業に関する考察」
優秀賞：渡邊浩平 (熊本大学) 「熊本市中心市街地における来街者回遊行動モデルの推定と政策シミュレーション」

(文責：幹事 箕浦永子 (九州大学))